

第6学年音楽科学習指導案

平成30年11月30日（金）第3校時

在籍数 6年3組 37名

指導者 教諭 阿部 かおり

1 題材名 ジャズの魅力を味わおう

2 題材について

（1）児童の実態

児童は自分の力で解決に向け努力するなど、高い目標に向かって真摯に取り組む。音楽の授業では、特に難しいところを伝え合ったり、自ら繰り返し練習したりする様子が多く見受けられる。本題材では、児童がこれまであまり馴染みのないジャズに挑戦し、ジャズの特徴を感じ取り、器楽合奏で演奏、アドリブづくりに取り組む。

これまでリコーダーの小アンサンブルに取り組み、友達と思いや意図を伝え合いながら表現を工夫して演奏することに取り組んだ。本題材でも、自分で試行錯誤したり友達のよいところを見つけたりしながら、互いによりよい表現を追求し喜びを共有させたい。

（2）題材設定の意図

教材の『シング・シング・シング』はスウィングジャズとして大変親しまれている曲である。ジャズの拍の感じ方やスウィングのリズムといった音楽の特徴を感じ取りながら、器楽合奏で友達と合わせて表現する楽しさを味わわせたい。そして、ジャズの大きな特徴といえるアドリブの旋律づくりに挑戦する。即興的な要素を含むアドリブは、試行錯誤しながら音楽づくりの様々な発想を得ることができ、限定した少ない音で旋律をつくることが可能なため音楽づくりの手立てとしても取り組みやすいと考える。

このように、ジャズの表現の学習をした後にプロの演奏の鑑賞を行うことで、表現と鑑賞の関連をはかりジャズの面白さや魅力を一層深く味わうことをねらいたい。

なお、本題材は、平成29年度告示の学習指導要領の「A 表現」(2)器楽の事項ア・イ・ウ(イ)ウ)、(3)音楽づくりの事項ア(ア)(イ)・イ(ア)・ウ(ア)(イ)、 「B 鑑賞」(1)事項ア・イを指導するものとする。

3 題材の目標

（1）ジャズの曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、楽器の音色や響きに気を付けて合わせて演奏したり、即興的に表現したりする技能を身に付ける。

＜知識・技能＞

（2）表現と鑑賞の活動を通して知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつとともに、曲や演奏のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。＜思考力・判断力・表現力＞

（3）主体的で対話的な学習活動の中で互いの感じ取ったことを尊重しながら、演奏を工夫したり、アドリブを工夫したりする活動に、進んで取り組む。＜学びに向かう力・人間性等＞

4 教材について

(1)「シング・シング・シング」 作曲者 ベニー・グッドマン

(2)DVD 原信夫とシャープス&フラッツ「LAST FOREVER Tokyo Bunka Kaikan 11. 02. 2008」

JAN コード/ISBN コード:4988001794745 より「シング・シング・シング」(鑑賞教材)

5 本題材で取り扱う〔共通事項〕と学習活動とのかかわり

〔共通事項〕ア(ア)	音色	リズム 拍	旋律	強弱	音の重なり	音階
ア(イ)			呼びかけとこたえ 反復 変化		音楽の縦と 横の関係	
イ		4分の4拍子				
主な 学習活動	基本的な 奏法を学 び、響きの ある音を 聴きなが ら、演奏の 仕方を工 夫する。	曲に合わ せて手拍 子をし、ド ラムのリ ズムに注 目しなが ら強拍を 感じ取る。 スウィン グのリズ ムの特徴 を感じ取 る。	教師が演 奏する旋 律をまね て演奏す る。呼びか けとこたえ (コール&レス ポンス) 旋律の組 み合わせ 方やつな ぎ方を工 夫してアド リブをつ くる。	曲の山や、 場面ごと の曲想を 捉え、強弱 を工夫す る。	各声部の 楽器の音 や全体の 響き、伴奏 を聴いて、 音を合わ せて演奏 する技能 を身に付 ける。	演奏した り、簡単な アドリブ を鑑賞し たりして、 ブルーノ ートスケ ールの音 階に気付 く。 ブルーノ ートスケ ールの音 をつかい、 アドリブ をつくる。

6 評価規準（題材の評価規準及び学習活動における具体的評価規準）

	ア音楽への関心・意欲・態度	イ音楽表現の創意工夫	ウ音楽表現の技能	エ鑑賞の能力
題 材 の 評 価 規 準	①ジャズの特徴と曲想 との関わりに関心を もち、演奏する活動に 主体的に取り組もう としている。(器楽) ②様々な旋律楽器や打 楽器を用いて合奏に した楽曲を演奏する	①リズム、拍、音階 などのジャズの特 徴を感じ取ってい る。 ②音色に気を付け て、音の出し方や 演奏の仕方を工夫 したり、互いのパ	①リズム、拍、音階 などのジャズの特 徴を感じ取りなが ら、曲想にふさわ しい表現で演奏し ている。 ②音色や音の重なり 合う響き、強弱の	①ジャズの曲想 及びその変化 と、音楽の構 造との関わり について理解 したり、知識 を得たり生か したりしなが

	ことに興味・関心をもっている。(器楽) ③アドリブをつくる学習に主体的に取り組もうとしている。(音楽づくり) ④ジャズの特徴と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する活動に主体的に取り組もうとしている。(鑑賞)	ートや音の重なりを聴き豊かに響き合うよさを感じ取ったりしている。 ③リズム、旋律、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら表現したいアドリブにするための思いや意図をもっている。	変化などに気を付けて、曲想にふさわしい表現で演奏している。 ③拍の流れに乗せてアドリブを演奏している。 ④旋律の組み合わせ方やつなぎ方を工夫してアドリブをつくっている。	ら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。
1	①	①		
2	②	②		
3				
4			②	
5				
6	③		③	
7		③	④	
8	④		①	①

7 指導と評価の計画（8時間扱い）

時	○学習内容 ・主な学習活動	○指導上の留意点 ☆評価規準 【 】 評価方法
第1次 『シング・シング・シング』を演奏しよう		
1	○ジャズの特徴と曲想との関わりに関心を持ち、拍やリズムの特徴を感じ取る。 ・曲に合わせて手拍子をし、ドラムのリズムに注目しながら裏拍の強拍を感じ取らせる。 ・スウィングのリズムの特徴を感じ取り、楽器で演奏する。	○児童数名に、打楽器をたたかせたり、打楽器のパートを歌わせたりして、どこに強拍がきているか全体で共有する。 ○「東京音頭」と「ピンクパンサーのテーマ」を聴かせ、スウィングのリズムの特徴を感じ取らせる。 ☆ジャズの特徴と曲想との関わりに関心を持ち、演奏する活動に主体的に取り組もうとしている。関①【行動観察、発言聴取】 ☆拍やリズムの特徴を感じ取り、音楽に合わせて手拍子をしたり、打楽器をたたいたりしている。創①【行動観察、演奏や発言の聴取】
2	○音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する。 ・基本的な奏法を学び、響きのあ	○音色を聴きながら、姿勢や奏法について確認する。マレットを何種類か試す。ふさわしいオルガンの音色を選ぶ。

	る音を聴きながら、演奏の仕方を工夫する。 ・自分のパートを練習する。	☆様々な旋律楽器や打楽器を用いて合奏にした楽曲を演奏することに興味・関心をもっている。関② 【行動観察】 ☆音色に気を付けて、音の出し方や演奏の仕方を工夫している。創②【行動観察、演奏や発言の聴取】
3	○各パートの役割や楽器の特徴をとらえ、演奏する。 ・楽譜を見ながら演奏を聴き、それぞれの楽器の役割を理解する。(旋律、ベース、リズム) また、どのように演奏したらいいか考える。 ・自分のパートを練習する。	○「ラバースコンチェルト」の学習を想起させ、パートの役割とそれを担う楽器を確認する。 ☆様々な旋律楽器や打楽器を用いて合奏にした楽曲を演奏することに興味・関心をもっている。関② 【行動観察】 ☆パートや音の重なりを聴き取り、豊かに響き合うよさを感じ取っている。創②【行動観察、演奏や発言の聴取】
4	○パートの音量のバランスを考えながら曲想にふさわしい表現を工夫して合奏する。 ・2グループに分かれ、お互いの演奏を聴き、パートの音量バランスについて、アドバイスし合う。	○前時の学習を踏まえ、パートの役割や全体の響きを考えて、音色や音量に気を付けて演奏する。 ☆音の重なり合う響きに気を付けて、曲想にふさわしい表現で演奏している。技②【演奏や発言の聴取】
5	○強弱の変化などに気を付けて、曲想にふさわしい表現を工夫して合奏する。 ・楽曲を通して聴き、曲の山や、場面ごとの曲想を捉え、強弱の表現の工夫を話し合う。 ・工夫を生かして演奏することができるよう練習する。 ・2グループに分かれ、お互いの演奏を聴き、アドバイスし合う。	○意見を交わしやすい雰囲気、投げかけをし、多様な意見が出た場合は、楽譜で確かめたり、実際に音を出したりしながら、表現したいイメージを具体的に確認していく。 ○楽器の音色を聴き、奏法を工夫しながら強弱を工夫させる。 ☆強弱の変化に気を付けて、曲想にふさわしい表現で演奏している。技②【演奏聴取】
第2次 『シング・シング・シング』のアドリブをつくろう		
6	○ジャズの音階の特徴を感じ取り、2小節のアドリブをつくる。 ・スウィングのリズム、シンコペーション、強拍2・4拍目、呼びかけとこたえ、ソロと合奏、音階といった特徴を確認する。 ・ブルーノートスケールの音階を	○「東京音頭」「ハンガリー舞曲第5番」と比較聴取し、特徴に気付けるようにする。 ○記譜・記録の必要性、その方法について触れる。教材提示装置をつかい、共有する。 ○ジャズらしくするにはどうしたらいいか、リズムや音の動きを試行錯誤する。

	用いて、アドリブをつくる。 ・「呼びかけとこたえ」のリレー形式で全員 2 小節のアドリブを演奏する。	☆アドリブをつくる学習に主体的に取り組もうとしている。関③【行動観察、発言聴取】 ☆アドリブを拍の流れにのせて演奏している。技③【演奏聴取】
7 本 時	○ブルーノートスケールの音をつかい、旋律の組み合わせ方やつなぎ方を工夫してアドリブをつくる。 ・グループの友達がつくったアドリブを基に、『シング・シング・シング』のアドリブをつくる。 ・グループで発表する。	○前時の学習を踏まえ、苦手な児童も取り組める工夫を伝える。 ☆リズム、旋律、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら表現したいアドリブにするための思いや意図をもっている。創③【ワークシート、発言聴取】 ☆旋律の組み合わせ方やつなぎ方を工夫してアドリブをつくっている。技④【演奏聴取、ワークシート】
第3次 『シング・シング・シング』を鑑賞しよう		
8	○学習してきたことを基に、ジャズのよさや美しさを味わいながらプロの演奏を聴く。 ○ジャズの曲想にふさわしい表現で演奏する。 ・2グループに分かれ、つくったアドリブを取り入れて演奏し合う。	☆ジャズの特徴と曲想との関わりに関心をもち、鑑賞する活動に主体的に取り組もうとしている。関④【行動観察、発言聴取】 ☆ジャズの曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解したり、知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。鑑①【ワークシート・発言聴取】 ☆リズム、拍、音階などのジャズの特徴を感じ取りながら、曲想にふさわしい表現で演奏している。技①【演奏聴取】

8 本時の学習指導（7／8）

（1）本時の目標

- ①リズム、旋律、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら表現したいアドリブにするための思いや意図をもつ。
- ②旋律の組み合わせ方やつなぎ方を工夫してアドリブをつくる。

(2) 展開

○学習内容 ・主な学習活動	○指導上の留意点 ☆評価規準 【 】 評価方法		
・教師（友達）が演奏する旋律をまねて、「コール&レスポンス」をする。 ・2小節のアドリブリレーをする。 ・本日のめあてを確認する。	○簡単な旋律でもアドリブになることに気付かせる。 ・1～3音の旋律パターン ・「反復」（繰り返し）パターンなど ○「まねっこ遊び」が呼びかけとこたえの形になっていることに気付かせる。 ○行き詰ってもブルーノートスケールの音を出し、拍の流れにのることが大切であることを伝える。		
アドリブをつくって、つなげて、『シング・シング・シング』のアドリブをつくろう。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top; padding: 10px;"> ・4～5人グループになり、自分のアドリブを発表し、友達のつくったアドリブで気に入ったところを伝え合う。 ・アドリブをつなげたり付け足したりして、『シング・シング・シング』のアドリブをつくる。 6小節・4小節 ・グループのアドリブを発表する。 演奏のあと、アドリブの思いや意図も伝える。 ・気付いたことや感じたことを書き、学習をふり返る。 </td><td style="width: 50%; vertical-align: top; padding: 10px;"> ○お互いの旋律を聴き合いながら、つなげる順番を考えるように助言する。 ○アドリブを長くする手立てとして、つくった2小節のアドリブをつなげる方法に加え、繰り返しや変化させる方法を紹介する。 ○何度も試しながら演奏させることで、ジャズの旋律の特徴を感じ取れるようにする。 ○演奏を聴いてよかったところを伝え合う。 ☆リズム、旋律、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら表現したいアドリブにするための思いや意図をもっている。創③【ワークシート、発言聴取】 ☆旋律の組み合わせ方やつなぎ方を工夫してアドリブをつくる。技④【演奏聴取、ワークシート】 </td></tr> </table> 《B と判断されるポイント》 様々な旋律を試し、拍の流れに乗せてアドリブを演奏して（つくって）いる。 《A と判断されるポイント》 様々な旋律を試し、拍の流れに乗せてアドリブを演奏して（つくって）いる。 +ジャズの特徴を感じ取ったことを基に、表現したいアドリブになるよう旋律の組み合わせ方やつなぎ方を工夫している。 《C となる児童への支援》 まねっこ遊びの1音か2音の簡単な旋律でもアドリブになることを伝える。		・4～5人グループになり、自分のアドリブを発表し、友達のつくったアドリブで気に入ったところを伝え合う。 ・アドリブをつなげたり付け足したりして、『シング・シング・シング』のアドリブをつくる。 6小節・4小節 ・グループのアドリブを発表する。 演奏のあと、アドリブの思いや意図も伝える。 ・気付いたことや感じたことを書き、学習をふり返る。	○お互いの旋律を聴き合いながら、つなげる順番を考えるように助言する。 ○アドリブを長くする手立てとして、つくった2小節のアドリブをつなげる方法に加え、繰り返しや変化させる方法を紹介する。 ○何度も試しながら演奏させることで、ジャズの旋律の特徴を感じ取れるようにする。 ○演奏を聴いてよかったところを伝え合う。 ☆リズム、旋律、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら表現したいアドリブにするための思いや意図をもっている。創③【ワークシート、発言聴取】 ☆旋律の組み合わせ方やつなぎ方を工夫してアドリブをつくる。技④【演奏聴取、ワークシート】
・4～5人グループになり、自分のアドリブを発表し、友達のつくったアドリブで気に入ったところを伝え合う。 ・アドリブをつなげたり付け足したりして、『シング・シング・シング』のアドリブをつくる。 6小節・4小節 ・グループのアドリブを発表する。 演奏のあと、アドリブの思いや意図も伝える。 ・気付いたことや感じたことを書き、学習をふり返る。	○お互いの旋律を聴き合いながら、つなげる順番を考えるように助言する。 ○アドリブを長くする手立てとして、つくった2小節のアドリブをつなげる方法に加え、繰り返しや変化させる方法を紹介する。 ○何度も試しながら演奏させることで、ジャズの旋律の特徴を感じ取れるようにする。 ○演奏を聴いてよかったところを伝え合う。 ☆リズム、旋律、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら表現したいアドリブにするための思いや意図をもっている。創③【ワークシート、発言聴取】 ☆旋律の組み合わせ方やつなぎ方を工夫してアドリブをつくる。技④【演奏聴取、ワークシート】		

ジャズの魅力を味わおう①

ジャズ音楽の特徴を感じ取ろう！

6 年 組 番 名前

★『シングシングシング』を演奏して感じたジャズ音楽の特徴

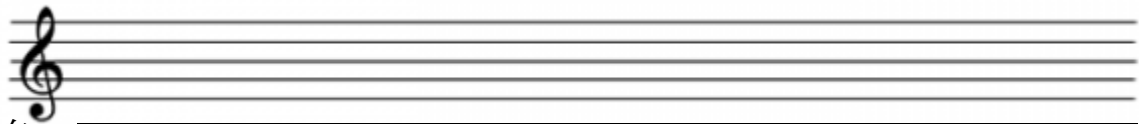
自分で感じ取ったこと	他の人の考え
キーワード リズム 拍 音階 楽器の構成	

★シングシングシングで主に使われている音を探そう！ →ブルーノートスケール



それ以外の音をつかっても OK！
(伴奏に合うか耳で確認する)
1 オクターブ高い（低い）音をつかっても OK！

★2 小節のアドリブメモ



階名

--	--

- レベルⅠ ラ・ド 2 音をつかってみよう
- レベルⅡ ソ・ラ・ド 3 音をつかって
- レベルⅢ ソ・ラ・ド・レ 4 音をつかって
- レベルⅣ ソ・ラ・ド・レ・レ# 5 音をつかって
- レベルⅤ ソ・ラ・ド・レ・レ#・ミ 6 音をつかって

ジャズの魅力を味わおう②

アドリブづくりにチャレンジ！

6年 組 番 名前 _____

①グループで発表し合おう

誰のアドリブがよかった？ 気に入ったところはどんなところ？

②グループのアドリブを発表しよう

6小節



4小節



③アドリブのポイント

ジャズの魅力を味わおう③

ジャズの魅力って何だろう

6 年 組 番 名前

①プロのアドリブを聴いて気付いたこと、感じたことを書きましょう。

※演奏 原信夫とシャープス&フラッツ 「LAST FOREVER Tokyo Bunka Kaikan 11.02.2008」

②ジャズの魅力は何だと思えますか。

これまでの学習（演奏、アドリブづくり、プロの演奏の鑑賞）を通して、分かったこと、感じたことを書きましょう。

ジャズの魅力を味わおう②

つくって、つなげて、
『シング・シング・シング』
のアドリブをつくろう。

～グループでのアドリブのつくり方レシピ～

2 小節のアドリブを班ごとに発表しあおう

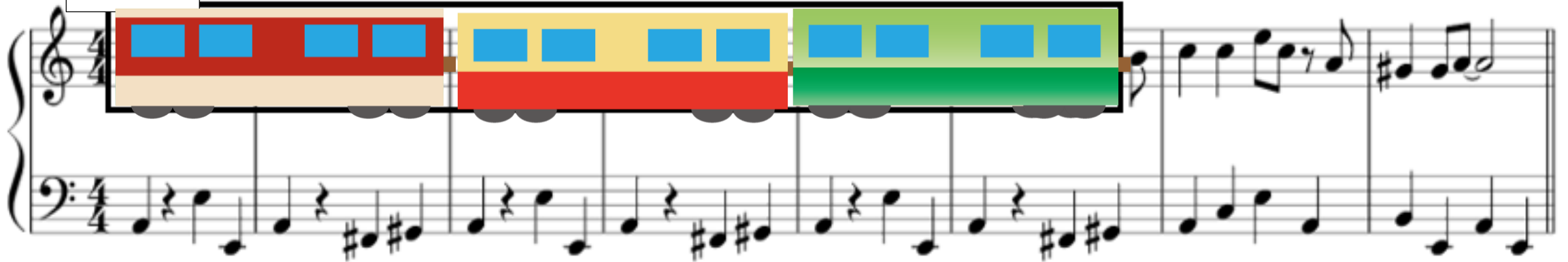
♪ 誰のアドリブがよかった？

♪ 気に入ったところはどんなところ？



前半 6 小節・後半 4 小節の分担を決め、アドリブの相性をみてつなげよう

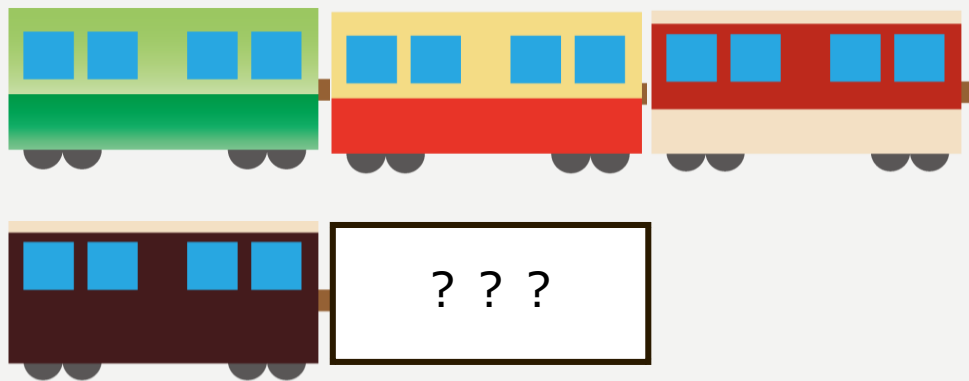
前半6小節



後半4小節



4人でつくった旋律をつなげて演奏しよう



足りない小節のアドリブをつくろう

すぐにアドリブができる！ポイント

基礎編

反復

つくったアドリブの一部を
くり返す

♪ターツター タラララー
♪ターツター タラララー

すぐにアドリブができる！ポイント

応用編

変化

つくったアドリブの一部を
少し変える

リズム・音の高さ

♪ ターッター タラララー

♪ タタッター タラララー

表現したいアドリブをイメージして
4人で相談しアドリブを修正しよう

「こんなアドリブにしたいな」
「こうした方がかっこいいな」

アドリブのポイント (思いや意図) の例

- 高い音域に上げて、緊張感を出しました(or盛り上げました)。
- さりげなく有名な旋律を入れ、ユーモアを取り入れました。
- つなげてみると忙しかったので、休符を入れました。
- リズムを繰り返して、耳に馴染むようにしました。
- 3連符を入れることで、強調したい。
- リズムを細かくして、演奏技術を見せつけたい。

伴奏に合わせて、
班で発表練習をしよう



グループでのアドリブの作り方

1. 2小節のアドリブを班ごとに発表し合う。
2. アドリブの相性をみてつなげる。前半6小節・後半4小節
3. つくった旋律をつなげて演奏してみる。足りない小節のアドリブをつくる。
4. 表現したいアドリブをイメージしながら、長くなった旋律を修正する。
「もっとこんなアドリブにしたいな」「こうした方がカッコいいな」
5. アドリブのポイントを書く。
6. 発表練習をする。

すぐにアドリブができる！2つのポイント！

基礎編 **反復**

つくったアドリブをくり返そう！

応用編 **変化**

つくったアドリブを少し変えてみよう！

アドリブのポイント（思いや意図）の例

- ・高い音域に上げて、緊張感を出しました(or 盛り上げました)。
- ・さりげなく有名な旋律を入れ、ユーモアを取り入れました。
- ・つなげてみると忙しかったので、休符を入れました。
- ・リズムを繰り返して、耳に馴染むようにしました。
- ・3連符を入れることで、強調したい。
- ・リズムを細かくして、演奏技術を見せつけたい。

前半6小節



後半4小節

